

ここなら安心
観察スポット

TK-01 新得町 屈足



アクセス



【地層ができた時代】約100万年前～現在（新生代第四紀）

ここがオススメ！

水のはたらき	★★★★
火山のはたらき	★★★
生き物の痕跡	●●●
地層の広がり	★★★★
大地の変動	★★★

地層の概要

ここで見られる大露頭は、約100万年前の十勝三股カルデラを形成した大噴火で発生した火砕流が堆積してできた地層（十勝三股火砕流）と、その上に堆積する洪山層と呼ばれる堆積物です。また、川岸には十勝川がつくった段丘堆積物が見られます。

十勝三股火砕流は大きく3つのユニットに分けられており、ここでは1番上のユニットを見ることができます。露頭の上流側には、その下のユニットを見ることができ、グレーがかかった2番目のユニットは、さらに上流の屈足湖畔で厚い溶結凝灰岩として観察できます。

凝灰岩の上に見られる堆積物は、凝灰質の砂礫層で、露頭の下流側で厚くなり、清水町熊牛で観察することができます（TK-02）。

川岸に見られる段丘堆積物は、下部に粘土や砂の互層、上部に円礫層が堆積しています。一番低いところに見られますが、この地域では一番新しい地層です。

こんな学習活動ができます

露頭に近寄ることができないため、遠くから露頭を観察する学習しかできません。しかし、地層の特徴がわかりやすいことから、複数の露頭に見られる同一の地層を対比し、地層の広がりを感じさせると良いでしょう。また、遠望で見いだした地層の構成物の特徴から、それぞれの地層がどのようにして堆積したのかを考えさせたり、それらの地層を調べたいという意欲を高めたりすることができます。

可能であれば、双眼鏡やフィールドスコープを準備して、地層を拡大して観察させると良いでしょう。

安全情報

露頭へのアクセス	安全度	♥♥♥♥ (観察地まで)
落石や崖崩れ	安全度	♥♥♥
足もとの広さ	安全度	♥♥♥
水の危険	安全度	♥♥♥

露頭に近づかないため、安全面の心配は不要です。川までの距離もあり、落水などの心配もありません。夏になると、河川敷の草木が繁り、視界を妨げることがあるので、事前に下見をしておくことをオススメします。

